

会 議 録

- 議事内容 2022年度 2月定例教育委員会
- 日 時 令和5年2月9日(木) 14:00～16:00
- 場 所 4階会議室4-1
- 出席者 教 育 長 橋本 浩明
教 育 委 員 河嶋栄里子・藤本真理・養父雄一・石原友紀
学 術 政 策 員 陰山 茂
事 務 局 入江教育管理部長・藤原教育指導部長
近澤教育総務課長・松田いきいき社会創造課長
井上スポーツ振興課長・教育総務課 澤谷

■ [会議の内容]

- 1 開会あいさつ
・教 育 長
- 2 前回議事録確認
・全委員一致で承認

3 協 議 事 項

☆今月の議論のテーマ:「コロナ禍におけるマスクの是非」について

■ 【教育委員からの照会及び意見】

- Q:卒業式・入学式でマスクを外せるようになるといったニュースが流れているが、小野市では基本的にはマスクを着用して出席ということになるのか。(教育委員)
- A:今後一か月の状況をみながら判断する。登壇のときは外すなど、場面によって切り分けて判断するのか、そこも含めて検討していく。子どもたちにストレスがかからないようにどう整理するか、学校現場からすると判断は非常に悩ましいところがある。国の状況も注視しながら、最終的には式を作り上げるのは子どもたちと保護者になるので、そこに一番近い学校の中でも協議しながら考えていく。(事務局)
- Q:学校ごとの判断になると思うが、保護者は1家族何人まで参加できるのか。(教育委員)
- A:保護者については、可能な限り参加できる方向で調整していく。ご両親は参加できるようになると思うが、それ以上の人数となると大規模校でどれくらいの人数が許容できるのかわからないが、可能な限り入っていただくような形になると思う。(事務局)
- Q:ここ何年か在校生は代表の子どものみという形だが、卒業式で送り出す5年生

や8年生の全員が参加することはやはり厳しいのか。(教育委員)

A:感染状況を見ながら対応していく。これも学校規模によって違ってくると思われる。5年生や8年生が入っても人数が大きく変わらない規模の学校もあれば、大規模校になると子どもの数が倍になり、そこに保護者をできるだけ入れようとしたときに、どの程度座席の間隔がとれるのか課題になってくる。そこも可能であればコロナ禍前の状態に戻していきたいとは学校も思っている。
(事務局)

- ・ テレビで見たが、全国のアンケートでは、マスクを外してもよいとなっても、顔を晒すことが恥ずかしいからマスクをしたいと答えた子どもが3割くらいいるとのことだった。人間関係を作る大切な時期にマスクのせいで表情がわからなくなってしまうのは、子どもの成長にとっても害があると考えている。
(教育委員)
- ・ 嫌がっている顔や喜んでいる顔がマスクで分からなくなってしまうので、いじめに繋がるのではないかと思う。言ったことに対し相手が嫌がっているのか嫌がっていないのか、表情が全然分からなくなってしまうことが、マスクの大きな弊害だと考える。(教育長)
- ・ 子どもの世界としては、マスクを外して表情をお互い見せあえたほうがより充実した学校生活になるのではないかと思う。(教育委員)
- ・ 個人としてマスクを着用したい人はして、全体としては外すという方向でいいのではないか。(教育委員)
- ・ コロナ禍におけるマスクの是非については、基本的にはマスクをしない方向でいく。ただ、するかしないかは自由(それぞれの事情がある)なので、したい人はするという方向でまとめる。(教育長)

4 報告事項

- ・ 令和4年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■ [学校教育課関連]

① 第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・ 脳科学と教育については、Short Seminar の配信を行い、啓発を行っている。
- ・ G I G Aスクールプロジェクトについては、2年目の実践記録集を現在作成している。
- ・ 「新たな幼稚園」にかかる今後の進捗管理について、検討を進めている。
- ・ 小中一貫教育については、各学校で実践のまとめを進めている。

- ・ 1月10日の人権教育研究大会が紙面開催となった関係で、2月7日に人権教育実践交流会を実施した。今年は「水平社宣言」から丁度100年という節目の年であっただけに人権教育研究大会を開催したかったが、感染状況が最も激しいタイミングと重なってしまったため、紙面開催という形をとった。今年予定していた講演会等については、来年度に取り組む。

(今後の予定)

- ・ 夢と希望のリーフレットについては、現在編集を行っている。次回、素案を提案したい。
- ・ 到達度テストの分析とフィードバックを行う。

②学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・ 『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告
- ・ 新入学にかかる就学援助事務の開始
- ・ 新型コロナウイルス・インフルエンザへの対応(学級閉鎖等)
- ・ DV・虐待対応

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗管理)

- ・ 令和4年度末の人事に着手し、ヒアリングをおこなっている。

④学校教育課情報

1 市の取組予定

- 2月 7日 人権教育推進委員会 兼 研究大会交流会
(15:00 市役所 2階 会議室)
特別支援教育 就学のための連携会議
(幼稚園・保育園所・こども園、小・特)
- 2月11日 地域防災訓練(中番小)
- 2月14日 特別支援教育 連携会議(小・中)
※中学校・高等学校は、連携シート
- 2月16日 学力向上推進委員会
- ※7か月児・未来のパパママ教室(月1回)
いきいき子育て教室(各園)

2 学校の取組

- 2月 1日 到達度テストの結果返却
分析とフィードバックへ

○小野市型G I G Aスクールプロジェクトの実践事例集のまとめ

1月現在 115事例

○2月24日迄 ひらがな聴写テストの実施

各校で分析

○3月 各中学校区 小中一貫教育のまとめ

○3月16日 中学校 卒業式

○3月17日 特別支援学校 幼稚園 卒業式

○3月23日 小学校 卒業式

3 学校の状況等

○1月 4号報告4件 (いじめ3件・問題行動1件)

○1月の不登校の状況

・小学校20名(前年13名)

・中学校74名(前年73名) 合計94名(前年86名)

・いじめ等については、少し落ち着いてきている状態。不登校については、相変わらずの状況である。昨年度の数値からみると、今年度末には100名を超える勢いで今のところ進んでいる。学校も丁寧に対応してはいるが、今後、どのように取り組むのかということが大切になると考える。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:先日大雪が降ったが、通学・通勤の状況や怪我などなかったか、情報があれば教えてほしい。(教育委員)

A:鉄道が止まってしまったため、鉄道関係の通学が非常に難しかった。また、今回は南方面の降雪が激しかったため、加古川・明石・三木方面からの通勤が非常に難しい状況になった。ただ、事故等はなく授業を行うことができた。特別支援学校については、送迎バスが出られなくなり、保護者が送迎されたところは朝から学校に来ていたが、それ以外の子どもたちは2時間ほど遅れてのスタートになったという状況だった。休校措置はしなかったが、大きな混乱はなかったのではないかと考えている。子どもたちについては怪我をした子がいる。(事務局)

A:中学生が登校後に滑って転び頭を打ったので手当をしていたが、嘔吐等の症状が出たので大事をとって救急搬送した。結果は頭部にも異常なく、軽傷ですんだ。それから、小学校で登校時にピロティーで滑って転んだ子どもがいたが、そちらも幸い軽症だった。(事務局)

Q:校区のなかでも遠方に住んでいるので、かなり早い時間に子どもが家を出る。道が凍っているような状態だが学校からは何も連絡がなかったので判断を迷っていたが、子どもが間に合わなかったら困ると言って、結局普段とあまり変

わからない時間に家を出た。その後学校からの一斉送信で遅れてきても大丈夫だという連絡がきたのだが、その時間差がとても残念だった。校区によって状況も違い、登校にかかる時間も様々なので、一律にルールを決めるというのは難しいと思うが、今回は、一年に一回あるかないかというような状況だったため、判断が非常に難しかった。(教育委員)

A:状況によるが、今回は前日から積雪が想定されていたので、危険な場合は遅れてもかまわないというアナウンスを前もってしていても良かったと考える。(教育長)

A:お互い共通理解をするような形で学校と情報を共有しながら、保護者の判断も含めてできるようにしていきたい。今回は、前日に連絡が出来るほどの気象情報があつたように思うので、事前に連絡をしていた方がよかったのではないかと感じる。今後にかかしていきたい。(事務局)

A:できるだけ事故のリスクが少なくなるように事前の対策をしてほしい。(教育長)

Q:今回のような状況は、各学校で判断すべき問題であり、市が一体で出来るものではないと考える。学校によって校区の状況も異なるので、学校ごとの判断があつてもよかったのではないか。(学術政策員)

A:そこも含めて今後どうしていくのか、臨機応変な対応と、先手で管理できるような体制の両面で考える。また校長会で周知しながら進めたい。(事務局)

Q:地域の方に学校に来ていただいて交流・体験することは大事だと思うが、コロナ禍で来ていただくことがなかなか難しかった中で、現在は制限が少し柔らかくなり受け入れられるようになってきたのか、これについて何か統一して決めていることがあるのか、状況を教えてほしい。(教育委員)

A:特に取り決めというものはなく、通常の教育活動を可能な限り行うという方針は共通理解をしているので、感染状況に応じて学校が判断しているという状況。感染状況が収まっているときには、外部講師を呼んだり、国際交流関係も多くの方が入られたり、地域の方と学ぶことも積極的に行っている状態にある。ただ、1月初旬のように感染状況が激しくなっている場合については、先送りにしたりオンラインに切り替えたり、悩ましい状況ではあると思う。(事務局)

Q:コミュニケーション能力のために、色々な方と出会うことは幼少のころの大事な経験だと思うので、学校で皆で体験できる場を増やすということは大切だと考える。できるだけおこなっていく方向に向かってほしい。(教育委員)

A:基本はコロナ禍前に戻していった方向にある。来年度はコロナが5類へ移ればできるだけおこなっていくことになると思う。(事務局)

・小学校の参観日に行った際に、どこの学校も全体的にとってもきれいだという印象を受けた。教室内もとても整頓されており、やはり環境が整っていると落ち

着いた状態で授業に臨めるので勉強も捗るだろうし、人間関係も良い方向へ向かうのではないかと思った。(教育委員)

■〔教育総務課関連〕

①新幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・基本設計に取り掛かっており、進捗率は1月末で35%。
- ・園長を含め、設計業者、教育総務課で検討会を行っている。今回は遊具について、どのようなものが必要になるか検討を行った。また、太陽光パネルについても敷設する方向で考えている。部屋の配置などレイアウトについても検討を行っており、新しい幼稚園については一時預かり保育の実施も考えているため、その専用の部屋をどこに配置するか、どのような配置が一番効率的になるか協議を行った。

(今後の予定)

- ・2月24日に幼稚園と設計業者と検討会を行う予定。外構関係や駐車場整備について検討を行う。駐車場整備については、現在のわか松幼稚園の敷地だけでは駐車可能台数が少ないので、小野小学校の敷地も含めて一体的に駐車場を考えていく。

②学校施設長寿命化対策事業(旭丘中学校)

(進捗状況)

- ・旭丘中学校の校舎について、長寿命化の設計を行っており、現在の進捗率は75%で、予定通り進んでいる。
- ・工事期間中に使用する仮設校舎について、設計が完了した。

(今後の予定)

- ・仮設校舎のリース契約について、2月27日に入札が行われる予定。

(課題)

- ・樹木について、学校と協議を行っている。敷地の有効利用や、老朽化している樹木が多いため安全面から一部を除き撤去する方向で進めているが、卒業生、地域の方々等関係者の意向を確認するためにも、当該中学校区内の自治会に対し、樹木撤去についての通知を発出する。それにより様々な反応が出てくると思うので、その反応を見ながら今後どうするか考えていきたい。

③学校トイレ洋式化事業

(進捗状況)

- ・来住小学校・中番小学校・市場小学校・小野特別支援学校の4校について、トイレの洋式化工事が予定通り終了した。

④教育総務課情報

1 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

○90万円×6校（児童生徒数300人以下）

河合小、来住小、中番小、下東条小、河合中、小野南中

○135万円×3校（同301人～500人）

市場小、大部小、旭丘中

○180万円×3校（同501人以上）

小野小、小野東小、小野中

○360万円

特別支援学校

○50万円×2園

幼稚園

計 1,945万円

<執行状況>（追加配分1,190,000円 R5.1.16）

学校	配分額(円)	執行済額(円) (R4.1月末)	執行率 (%)
小野小学校	1,800,000	1,756,380	97.6
小野東小学校	2,080,000	1,796,174	86.4
河合小学校	1,040,000	595,758	57.3
来住小学校	900,000	899,757	99.9
市場小学校	1,560,000	1,196,342	76.7
大部小学校	1,350,000	1,096,039	81.2
中番小学校	1,040,000	875,630	84.2
下東条小学校	1,040,000	897,378	86.3
小野中学校	1,800,000	1,591,639	88.4
河合中学校	1,040,000	763,424	73.4
小野南中学校	1,040,000	747,522	71.9
旭丘中学校	1,350,000	1,334,140	98.8
小野特別支援学校	3,600,000	2,688,661	74.7
わか松幼稚園	500,000	495,116	99.0
小野東幼稚園	500,000	462,594	92.5
合計	20,640,000	17,196,504	83.3

※主な購入品目

- ・パーテーション ・テント ・ペダル式ゴミ箱 ・スピーカー ・衝立
- ・拡声器 ・著作権使用料 ・分散授業用教材 ・ハンドソープ
- ・アルコールディスペンサ ・アルコール消毒液 ・ビニール手袋
- ・自動水栓 ・網戸 ・ワイヤレスマイク ・分散授業用机椅子
- ・書画カメラ ・ディスプレイ ・次亜塩素酸水 ・マット
- ・マグネットスクリーン ・体温計 ・ディスプレイスタンド
- ・ミニキーボード ・サーキュレーター ・プロジェクター
- ・サーマルカメラ ・CO2 測定器 ・抗原検査キット ・デジタル身長体重計
- ・加湿器 ・オージオメータ ・両面発表ボード ・空気清浄機

○来年度についても、引き続き感染症対策の補助金が出る予定。ただ、今までのような感染予防ではなく換気対策がメインになるため、これまでは補助金でアルコール消毒液やハンドソープを購入できていたが、来年度は基本的に感染予防目的としてそういったものは購入できない。換気対策として、網戸やサーキュレーターを購入することはこれまでどおり補助の対象になる。なお、コロナの陽性者、濃厚接触者が学校で出た場合は、感染拡大防止を目的として消毒液等の不足分を購入するといったことは認められる。色々な制限はあるが、引き続き令和5年度も感染症対策事業が行われる予定である。

■【説明事項に対する教育委員会からの照会及び意見】

Q: 感染症対策の補助金について、学校は補助金があるから使っておこうという気持ちなのか、それとも本当に欲しいと思って購入しているのか、2年経つが実際はどのような状況なのか。(教育委員)

A: 最初の頃は必要なものを揃えないといけないという感覚だったと思うが、現在はどちらかというと補助金が十分にあるので感染予防、感染拡大防止を徹底する意味で念のために買っておこうという思いもあると考える。(事務局)

Q: 消毒液は次年度から補助金の対象外ということだが、消毒液は継続して入口等に設置しておくことになると思うので、今後も消毒液が必要になると思う。必要になった場合は、次年度からは学校の予算で購入するということか。(教育委員)

A: 基本的には対象外だが、例えば陽性者や濃厚接触者が学校で出たときに、学校に消毒液がないのであれば、不足分の購入については補助の対象になる。今年度は消毒液の購入も、陽性者や濃厚接触者発生の有無に関わらず補助の対象となっているので、必要な分は今のうちに購入しておき、来年度は換気対策に補助金を使っていくことになると思う。(事務局)

A: この制度があることで学校は安心して学校生活を継続できたので、学校ごとに感染症対策の補助金を配分したことは凄く効果があったと考える。ただ、社会

の状況が以前とは変わってきている。(事務局)

A:この2、3年の間に、基本的なものは既に整備されているという考え方だと思う。(事務局)

Q:小野東幼稚園の駐車場について、これから小野東幼稚園舎で合同幼稚園となるときに駐車場の台数は今の駐車場だけで足りるのか。その期間だけでも、隣にある小野保育所の駐車場を半分お借りすることはできないのか。(教育委員)

A:その方向で進めている。保育所の駐車場は70台止めることができ、普段は満車になることはなく、送迎の時間帯も幼稚園と保育所では異なっているため、できれば合同幼稚園となる1年半の期間駐車場を使わせてもらいたいという話はしている。ただ、当該駐車場は保育所が賃料を払って借りている場所であり、まずは土地所有者に了解をもらうため、保育所と教育総務課と園長で調整を進めている。(事務局)

■ [いきいき社会創造課関連]

①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

- ・1月13日に第4回文化財保存活用地域計画協議会を行った。
- ・現在、文化財保存活用地域計画素案全体の庁内での意見集約を行っている。

(今後の予定)

- ・2月21日に小野市文化財保護委員会での意見聴取を行う予定。
- ・4月28日に第5回地域計画協議会を開催予定。

②図書館事業 (ICタグシステム導入事業、トイレ洋式化改修工事、高圧受電機器取替工事)

(進捗状況)

- ・高圧受電機器取替工事について、1月13日に第2回工程会議を行い、工期をR4.9/26～R6.2/28に変更した。

(今後の予定)

- ・高圧受電機器取替工事について、3月28日に高圧ケーブル布設替え工事を行う。

(課題)

- ・高圧受電機器取替工事の半導体基盤の納品が遅れており、高圧交流断路器は8月頃、不足電圧継電器は納期未定という状況。このため、工期を来年度へ延長して実施する。

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

○えほんおみくじ

おみくじは全部で4種類（大吉・中吉・小吉・吉）あり、それぞれにおすすめする絵本が書いてある。おみくじと併せておすすめする絵本を展示。

期 間：1月4日（水）～1月31日（火）

○市指定文化財奥田家住宅茅葺屋根修理補助事業

内 容：主屋南側屋根の茅葺修理

工 期：8月1日～10月15日

事業費：379万円

補助額：189万円（補助率1/2）

○文化財防火デー 浄土寺における文化財消防訓練

日 時：令和5年1月22日（日）8：00～9：00

場 所：浄土寺境内及び周辺地域

参加者：小野市消防本部、小野市消防団、浄土寺、浄谷町住民 約150人

内 容：浄谷町住民による119番通報から初期消火、消防団・消防隊による放水、鎮火までの一連の消防活動の訓練を実施した。

○国宝浄土寺浄土堂（阿弥陀堂）及び重要文化財薬師堂防災設備整備事業

期 間：令和4年度～令和6年度

内 容：令和4年度 実施設計

令和5年度 配線・配管工事、避雷針更新工事など

令和6年度 自動火災報知設備更新、消火栓の新設、防火水槽
ポンプ室の設置など

進 捗：1月31日に設計原案完成

文化庁文化資源活用課及び小野市水道部、小野市消防本部の
チェックを受け修正後設計書完成

2月7日文化庁文化資源活用課文化財調査官による現地指導

事業費：8,500万円（3年間合計）

○企画展「ザ・昭和のくらし②レトログッズ大集合」

会 期：開催中～令和5年5月21日（日）まで

内 容：懐かしい生活道具や当時流行った娯楽・趣味、服装などの資料
149点を展示、多方面から昭和時代を振り返る。

会 場：好古館2階展示室

○企画展「第12回 ビッグひなまつり」

会 期：開催中～令和5年3月5日

内 容：館蔵や市内に残るひな人形を一堂に展示
また、今年は旧小野藩主一柳家に伝わる明治時代のひな人形
と道具を初めて展示。
会 場：好古館玄関ホール、常設展示室2、和室・研修室ほか

○小野藩陣屋町に春を呼ぶ「ひなめぐり」

期 間：開催中～令和5年3月5日
内 容：小野商店街の25店舗にひな人形を展示し、歴史ある小野藩
陣屋町の風情を楽しんでいただく。
会 場：好古館、小野商店街、伝統産業会館、コミセンおの

2 今後の予定

○リサイクルブックフェア

図書館で役割を終えた図書や保存期限を過ぎた雑誌、家庭で不要になった
寄贈本などを利用者に無料で提供する。

期 間：2月1日（水）～2月15日（水）

○雑誌の付録プレゼント（抽選・50名限定）

応募期間中に資料20点借りられた方にカウンターで応募券を渡す。

応募期間：2月14日（火）～2月27日（月）

抽 選 日：3月1日（水）

○SDGs展示

SDGs（Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)）に
関する本を展示。

期 間：2月1日（水）～2月27日（月）

○第2回文化財保護委員会

日 時：令和5年2月21日（火）13：30～15：00

場 所：コミセンおの 106号室

参 加 者：文化財保護委員10人、好古館職員

内 容：令和4年度好古館及び文化財保護事業報告について
文化財保存活用地域計画の意見聴取

○大部地区地域づくり協議会 おおべ未来塾「マレーシアってどんな国？」

日 時：令和5年2月19日（日）13：30～15：00

場 所：コミセンおおべ大ホール
 目 的：異文化交流を通じた多文化共生の推進
 対 象：大部地区在住の小学3年生から小学6年生まで
 定 員：20人
 内 容：マレーシアの言語や衣食住などの文化について、留学生（明石高専）を講師として招致し、交流を通じて異文化を体感し学ぶ。

○小野地区地域づくり協議会 第18回「小野陣屋まつり」

日 時：令和5年3月5日（日）10：00～16：00
 場 所：小野商店街（メイン会場：愛宕神社境内の特設舞台）
 目 的：小野藩陣屋町の歴史を情報発信しながら、小野市の歴史を体感してもらい、地域の人々が交流できる場をつくる。
 内 容：小野藩大名行列
 保育園児や市民団体による芸能発表会（11団体）
 甲冑着付け体験及び大抽選会 他 ※4年ぶりの開催

○スマホ教室の開催（コミセン短期講座）

目 的：シニアを対象に身近な情報端末であるスマートフォンの操作方法を学ぶ機会を提供することで、日常生活レベルのITリテラシーを獲得し、情報不足による社会的孤立や経済的不利益を防ぐ。（デジタルデバイドの解消）
 内 容：市内在住の60歳以上の方を対象に、3カ所のコミセンにて開催。

主催者	日時（場所）	定員	受講対象
コミセン おおべ	令和5年2月7日（水） 10：30～12：00 （コミセンおおべ 学習室）	12人	スマホの基本操作
	同日 13：30～15：00 （コミセンおおべ 学習室）	12人	スマホの活用方法
コミセン おの	令和5年3月24日（金） 13：30～15：30 （コミセンおの 101号室）	15人	スマホの基本操作と活用方法
コミセン 下東条	令和5年3月31日（金） 13：30～15：30 （コミセン下東条 集会室）	18人	同上

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:陣屋まつりにおいて、愛宕神社に舞台を設置されるが、舞台に上がった年配の方から、舞台が高く揺れるので不安というお話を聞いたので、何か工夫してほしい。(教育委員)

A:了解しました。4年ぶりの開催になるので改めてご意見を伝えておく。(事務局)

Q:スマホ教室は、希望が多かったため開催されるようになったのか。

内容は、携帯ショップで行われているようなもので、講師として携帯ショップの方が来てくださるのか。(教育委員)

A:スマホの基本的な操作について、いまさら人に聞けないといった高齢者の声が多かったので、初心者向けの教室を開催することになった。携帯会社に相談したところ、営業の一環という側面もあり協力していただくことになった。(事務局)

A:携帯会社から来てくれるのは営業の一環ということもあるが、国策としてデジタルデバイドを減らすために、国が大手携帯会社に補助金を交付し、スマホ教室の開催を支援していたという背景もある。(事務局)

Q:定員を超えるくらいの参加者がいるのか。(教育委員)

A:去年開催した際も募集定員よりも多くの参加希望者があった。(事務局)

Q:コミセンおのの駐車場がわかりづらいとの声を聴いたが、なにか対策があれば教えてほしい。(教育委員)

A:コミおのの建物の奥に駐車場があるような誤解を招くのを防ぐため、奥に入れないようにコーンを置き、注意書きを表示した。それから、王塚西駐車場にコミセンおの利用者も駐車できる看板を設置している。(事務局)

■【スポーツ振興課関連】

①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・市内の学級閉鎖について、小野特別支援学校でコロナとインフルエンザの感染者が増加し、2月7日から2月10日まで学校閉鎖となった。3学期に入ってから1月に6件、2月に7件、合計13件の学級閉鎖・学校閉鎖があった。インフルエンザが急増しており、ほとんどインフルエンザによる学級閉鎖となっている。
- ・ひまわりカードを用いた第2回「朝食接種率調査」を1/16～1/20に実施した。結果は現在集約中のため、来月報告する。

(今後の予定)

- ・なわとび検定について、特に冬場継続的に取り組み、2月末に検定を行う予定。

②第9回小野ハーフマラソン2022

(今後の予定)

- ・第9回大会での様々な課題を踏まえて、第3回実行委員会を3月中旬に行う予定。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○第21回兵庫県中学校新人駅伝競走大会

日 程：令和5年2月18日（土）

場 所：三木総合防災公園陸上競技場周辺コース

2 社会体育

○令和4年度小野市スポーツ賞表彰式

日 時：令和5年2月23日（木・祝）14時00分 開式

場 所：小野市うるおい交流館 エクラホール

3 今後の予定

○3月ハートフルウオーキングデー「第11回小野アルプス縦走ハイキング」

日 時：令和5年3月18日（土）

場 所：スタート（神戸電鉄・JR加古川線粟生駅）

ゴール（白雲谷温泉ゆぴか）

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：朝食について、不登校や朝起きることがつらいといったことに直結しているということを、不登校予防の意味も含めて、図や絵を使って啓発してはどうか。脳科学理論に基づきながら、朝食の大切さをより楽しくわかりやすく示せば、小さい子どもにもわかるし、親もバランスの良い朝食を食べさせなければと、また新しく見直すきっかけになるのではないだろうか。（教育委員）

Q：ひまわりカードと一緒に案内文を配られているが、毎回同じことが書かれているのだろうと思い、さっと読んで終わってしまう。いつもと違う案内であれば気を引くと思うので、例えば季節感のある絵柄や、その季節のおすすめ朝食を紹介するなど、なにか目につくようなものがあれば良いのではないか。（教育委員）

A：なぜバランスの良い食事が大切なのか認識しながら食生活を送ることは大事

なことだと思うので、メリットをわかりやすく示し、よりよい表現の仕方でもっと目を引くようにPRしたい。(事務局)

Q:インフルエンザによる出席停止は、コロナによる出席停止とは日数が異なるのか。(教育委員)

A:コロナは陽性者の場合は7日、インフルエンザは発症後5日かつ解熱後2日というルールで運用している。(事務局)

Q:コロナが5類に移行すれば、この日数は変わることになるのか。(教育委員)

A:変わると思われる。(事務局)

5 次回定例教育委員会予定

令和5年3月2日(木) 午後1時30分 4階会議室4-1

6 閉会あいさつ 教育長